

彦根高商創立百周年記念事業推進協賛
 (旧称：陵水百周年記念事業推進協賛)

募 金 趣 意 書



令和4年4月

一般社団法人 **陵 水 会**
 (滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部 同窓会)

公益財団法人 **陵水学術後援会**



お問い合わせ先

一般社団法人 **陵 水 会**

(滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部 同窓会)

公益財団法人 **陵水学術後援会**

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号

メー ル ryosui@biwako.shiga-u.ac.jp

電 話 0749-26-3028

F A X 0749-26-3098

H P <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ryosui/>



彦根高商創立百周年記念事業推進協賛募金のお願い

滋賀大学経済学部の前身である彦根高商は、渋沢栄一翁が唱えた「士魂商才」を建学の精神として大正12年(1923年)に創立され、間もなく百周年を迎えます。

母校はこれまで幾多の難局を乗り越えてきましたが、特に、平成29年(2017年)に日本初のデータサイエンス学部が創設された後は、彦根キャンパスに国内最大規模の経済学部と日本初のデータサイエンス学部が共存する文理融合大学となり、大きな注目・期待が寄せられているのは御高承の通りです。

われわれ陵水会もこの百年の間「強い母校支援」と「固い団結力」を旗印に母校の発展と共に二人三脚で歩んでまいりました。「士魂商才」をバックボーンにした3万6千人を超える有為な卒業生が彦根を巣立った後、世界で羽ばたき続けているのがまさにその証であり、われわれの誇りとするところでもあります。改めて先輩諸兄に心より感謝申し上げます。

しかしながら、御高承の通りわが国の大学は少子化の進行や運営費交付金の削減などの環境変化に直面し改革を余儀なくされており、今後ますますそのスピードが早くなると予想されます。母校もその例外ではありません。幸い母校は竹村新学長の下、データサイエンスを起動軸にして改革に挑戦中であります。われわれも母校に歩調を合わせ新たな第2世紀に向けて改革に挑戦しなければなりません。

今般、彦根高商創立百周年を迎えるにあたり、母校の「百周年記念事業推進委員会」(委員長:小倉副学長)とわれわれが一体となり、大学・陵水会共同事業と陵水会主体事業を両輪にして記念事業を展開致します。

1. 大学・陵水会共同事業 ―「母校支援」の強化

われわれの「母校支援」については、予てより内外から高い評価を頂いておりますが百周年を機に抜本的に一段と強化致します。それは新たな第2世紀の大学は、知の集積拠点として多様な人材などをできるだけ多く集めることを求められているからであります。そこで、われわれが持つ多様な「人材」「知見」「資金」などを従来以上に積極的に提供し大学と共同で記念事業を展開致します。まず、われわれの老家である「経済学部」において、従来の経済学や経営学を基盤としつつ「データサイエンス」など新しい科学を駆使する「ビジネスサイエンス」の拡充・充実が急務となっています。そのため、われわれが広く協賛企業を募り経済学部・データサイエンス学部共催の「ビジネスサイエンスフォーラム」を東京などで大々的に開催し、母校の認知度を全国に拡大します。また、「ビジネスサイエンスMOOC教材」の開発を支援し、リカレント教育用の新しいプラットフォームを提供します。これらの事業により、母校の先端性がPRできると共にわれわれにとっても「ビジネスサイエンス」の理解が一層深まり、実践への応用が可能となります。

次に、産学連携推進支援として経済学部・データサイエンス学部との共同研究やコンサルティング及び企業の「データサイエンス」教育研修ニーズなどを仲介・斡旋し大学の外部資金調達を強力に後押しします。更にSDGsやアントレプレナーなどの陵水寄付講座も積極的に紹介し、産学のブリッジ役を果たします。

2. 陵水会主体記念事業

(1)「SHI-KON-SHOU-SAI」のリボーン

渋沢栄一翁の「士魂商才」にわれわれの新たな息吹を吹き込み「SHI-KON-SHOU-SAI」へリボーンさせます。そのために「陵水会館」の耐震改修工事を支援助成し、充実した研究施設に大幅リニューアルして貰います。それにより、現役学生からシニアまでが産学一体となって「陵水会館」に集まり最先端の研究論議や「SHI-KON-SHOU-SAI」のあるべき姿について熱き議論をしようではありませんか。また、「陵水100年史」を発刊いたします。

(2) 陵水会のエンゲージメント強化

新たな第2世紀に向けて、われわれ自身も力強い第一歩を踏み出す必要があります。そのため、われわれの永年の課題解決に挑戦致します。

まず、若年の「陵水会離れ」対策の一環として、現役学生・若年会員・一般中堅会員を結びつける「公式LINE」を活用した「Next Ryosui」を創設します。また活用にバラツキがあった陵水会名簿の抜本的改訂にもチャレンジします。百周年記念グッズも作成致します。そして、2023年11月に百周年記念式典、講演会などを大学と共催し挙行予定です。できるだけ多くの会員に出席願ひ、先輩諸兄に感謝申し上げますと共に、改めてエンゲージメントを確認し百年の喜びを分かち合いたいと考えております。

以上が百周年記念事業の概要であります。就いては、これらの事業を完遂、成功させるため皆様方には別紙募集要項による協賛募金をお願いすることとなりました。

コロナ禍もあり極めて厳しい時節柄ではありますが、何卒この趣旨にご賛同頂き、格別のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 陵水会
公益財団法人 陵水学術後援会 理事長 山田 督



山田 督(やまだ おさむ)

昭和23年10月福井県生まれ。山崎ゼミ、傳田ゼミ、軟式庭球部。昭和46年3月滋賀大学経済学部卒業後、旧住友銀行(現三井住友銀行)入行。3ヶ店の支店長と3部の本店部長などを務め、執行役員営業第三本部長にて退任。平成12年6月関西銀行に移り、同行専務・関西アーバン銀行副頭取・びわこ銀行頭取・関西アーバン銀行(現関西みらい銀行)副会長などを歴任。平成2年6月一般社団法人陵水会理事長及び公益財団法人陵水学術後援会理事長就任。

彦根高商創立百周年記念事業へのご協力お願い

滋賀大学の前身彦根高商が開設してからはや100年、この間に高商・大学が輩出してきた有為の人材が、現在の我が国の発展を支えてきたといっても過言ではありません。

そして、5年前に日本初のデータサイエンス (DS) 学部を開設し、Society5.0を牽引するデータサイエンティスト育成を目指すとともに、全学でDSリテラシー教育を進め文理融合大学への展開に舵を切った滋賀大学の名は、いまや全国に響き渡っています。

このような中で、陵水会会員の皆様には、日頃より母校の研究教育力発展及び学生支援に多大なるご助力を賜っております。彦根高商及び滋賀大学で教育をうけ、学生生活を送った皆様のご活躍は大学の誇りであり、また会員の皆様の母校を想う気持ちには感謝の念に堪えません。

このたび、彦根高商創立百周年を迎えるにあたり、大学は陵水会と連携を図り、本学の共創力を高める基盤を築く多くの事業を共同企画しました。

この共同事業は、厳しい荒波の中を航海する滋賀大学にとって、陵水会からご支援を受けるのみではなく、陵水会と大学との強力なニュー・パートナーシップの展開です。

この度の募金の趣旨をご理解の上、なにとぞ皆様のご協力を賜りたく、伏してお願い申し上げます。

国立大学法人 滋賀大学 学長 **竹村 彰通**

滋賀大学学長
竹村 彰通(たけむら あきみち) (昭和27年4月10日生)



学歴：昭和51年3月 東京大学経済学部卒業
昭和53年3月 同 大学院経済学研究科修士課程修了
昭和57年9月 スタンフォード大学統計学大学院修了
学 位：昭和57年9月 Ph.D(スタンフォード大学統計学博士)
職 歴：昭和57年9月 スタンフォード大学統計学部客員助教授
昭和58年9月 バーデュー大学統計学部客員助教授
昭和59年6月 東京大学助教授(経済学部)
平成9年4月 同 教授(大学院経済学研究科)
平成13年4月 同 教授(大学院情報理工学系研究科)
平成27年5月 滋賀大学データサイエンス教育研究推進室長
平成28年4月 同 教授(データサイエンス教育研究センター)
平成29年4月 同 教授(データサイエンス学部)
役 職：平成28年4月 滋賀大学データサイエンス教育研究センター長(令和2年3月31日まで)
平成29年4月 同 データサイエンス学部長(令和4年3月31日まで)
専門分野： 情報学／統計科学

彦根高商創立百周年記念事業推進委員長、滋賀大学理事・副学長
小倉 明浩(おぐら あきひろ) (昭和35年8月25日生)



学歴：昭和58年3月 滋賀大学経済学部卒業
昭和60年3月 滋賀大学大学院経済学研究科修士課程修了
昭和63年3月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程研究指導認定退学
学 位：昭和60年3月 経済学修士(滋賀大学)
職 歴：昭和63年4月 滋賀大学助手(経済学部)
昭和64年1月 滋賀大学講師(経済学部)
平成5年1月 滋賀大学助教授(経済学部)
平成15年4月 滋賀大学教授(経済学部)
役 職：平成16年4月 滋賀大学経済学部副学部長(平成17年3月31日まで)
平成16年12月 滋賀大学学長補佐(平成17年12月20日まで)
平成18年4月 滋賀大学学長補佐(平成22年3月31日まで)
平成20年4月 滋賀大学評議員(平成22年3月31日まで)
平成20年4月 滋賀大学経済学部副学部長(平成23年3月31日まで)
平成23年4月 滋賀大学副学長(平成26年3月31日まで)
平成24年4月 滋賀大学国際センター長(平成26年3月31日まで)
平成26年4月 滋賀大学経済学部学部長(平成30年3月31日まで)
平成30年4月 滋賀大学理事・副学長(令和6年3月まで)
専門分野： 世界経済論

百周年記念事業

デジタル時代の新たな ビジネスサイエンスを拓くフォーラムを開催

経済学部、データサイエンス学部、教育学部による文理融合フォーラムを東京などで開催。
データサイエンスで変わるビジネスの未来を考察し、デジタル時代をリードする滋賀大学を発信します。

アントレプレナー講座 SDGs講座開講など

実務経験が豊富な外部講師を迎え、企業の課題抽出・解決策を考える授業や、SDGsを考える総合的な教育などを展開。寄附講座の開講などを通じて、社会に貢献できる学生の育成をめざします。

社会人のための 「ビジネスサイエンスMOOC」の開発・公開

Society5.0社会を担うビジネスパーソン向けのリカレント教育教材を開発・公開。経営者層やニューリーダー、起業を目指す方たち向けに、マーケティング、リスクマネジメント、アルゴリズム等幅広い視点からデータサイエンスにアプローチします。

百周年記念式典



2023年(令和5年)11月4日(土)
彦根キャンパスで開催を予定。

経済学部学長
中野 桂(なかの かつら) (昭和38年5月14日生)



学歴：昭和63年3月 京大文学部卒業
平成2年3月 国際基督教大学大学院行政学研究科博士前期課程修了
平成4年3月 国際基督教大学大学院行政学研究科博士後期課程中退
平成11年11月 プリティッシュ・コロンビア大学大学院修了
学 位：平成11年11月 Ph.D(プリティッシュ・コロンビア大学経済学博士)
職 歴：平成5年9月 プリティッシュ・コロンビア大学助手(平成5年12月31日まで)
平成6年5月 プリティッシュ・コロンビア大学助手(平成10年4月30日まで)
平成12年1月 滋賀大学講師(経済学部)
平成13年4月 同 助教授(経済学部)
平成19年4月 同 准教授(経済学部)
平成21年12月 同 教授(経済学部)
役 職：平成20年4月 滋賀大学環境総合研究センター副センター長(平成23年3月31日まで)
平成22年4月 同 経済学部副学部長(平成24年3月31日まで)
平成24年4月 同 環境総合研究センターセンター長(平成29年3月31日まで)
令和2年4月 同 経済学部副学部長(令和2年9月30日まで)
令和2年4月 同 学長補佐(令和3年3月31日まで)
令和2年10月 同 経済学部長(令和6年3月31日まで)
令和2年10月 同 大学院経済学研究科長(令和6年3月31日まで)
令和2年10月 同 経済学系長(令和6年3月31日まで)
専門分野： 応用ミクロ経済学

データサイエンス学部長
椎名 洋(しいな よう) (昭和36年2月9日生)



学歴：昭和61年3月 東京大学法学部卒業
平成4年3月 同 大学院経済学研究科博士課程 単位取得満期退学
学 位：平成16年2月 博士(経済学)(東京大学)
職 歴：平成4年4月 信州大学講師(経済学部)
平成7年4月 同 助教授(経済学部)
平成16年4月 同 教授(経済学部)
平成26年4月 同 教授(学術研究院社会科学系)
平成29年4月 滋賀大学教授(データサイエンス系)クロスアポイント制度適用(令和2年3月31日まで)
令和2年4月 同 教授(データサイエンス学系)
役 職：平成22年4月 信州大学学長補佐(平成24年1月31日まで)
平成25年4月 同 附属図書館中央図書館副館長兼務(平成29年3月31日まで)
平成31年4月 同 経法学部学部長補佐(令和2年3月31日まで)
平成31年4月 同 先端領域融合研究群社会基盤研究所 データサイエンス部門長(令和2年3月31日まで)
令和2年4月 滋賀大学データサイエンス教育研究センター 副センター長(令和4年3月31日まで)
令和2年4月 同 データサイエンス学部副学部長(令和4年3月31日まで)
令和2年4月 同 学長補佐(令和3年3月31日まで)
令和4年4月 同 データサイエンス学部長(令和6年3月31日まで)
専門分野： 数理統計学

募 金 要 綱 (個人様用)



1. 募金団体名および代表者

公益財団法人陵水学術後援会 理事長 山田 督

2. 募金目的

彦根高商創立百周年記念事業推進のため

※令和4年4月1日に陵水百周年記念事業推進の名称を上記に変更いたしました。

3. 募金受皿

公益財団法人陵水学術後援会

4. 募金期間

2021年7月～2024年6月(3ケ年)

5. 募金目標

総額2億円(一口3万円以上として3年分割も可です。)

6. 募金払込方法

●金融機関でのお振込み

●ゆうちょ銀行・郵便局の窓口で、**陵水会指定の振込用紙**によりお振込みをお願いします。

※ゆうちょ銀行の取扱料金が2022年1月に改定されたため、現金でお振込みの場合には、振込みの際に現金利用に伴う料金をご負担いただくこととなりますが、ご容赦ください。

●陵水会指定の振込用紙がお手元にない場合は、陵水会事務局へご連絡ください。

折り返しお送りさせていただきます。

●クレジットカードによるご寄付

●陵水会の募金活動ホームページ

【<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ryosui/ryousuikai100bokin/>】

から手続きをお願いします。



陵水会
ホームページ

クレジットの1回の上限は5万円です。
5万円以上のご寄付の場合は複数回の入力をお願いします。

7. 税制上の優遇措置

ご寄付は寄付金控除(所得控除)の対象となります。

8. 領収書等の発行

口座への寄付金の入金(受領)が確認できたら、適宜発行させていただきます。

※「寄付金領収証明書」の寄付金受領日は、口座への入金日です。クレジットカード決済の場合、口座への寄付金の入金は、翌々月末になります。11、12月に寄付手続きをされた場合には、寄付金控除が翌年になりますので、寄付金に対する税制優遇措置をお受けになる場合はご留意願います。

9. 遺贈または相続財産によるご寄付

遺贈又は相続財産によるご寄付も積極的にお願いいたします。
なお、詳細につきましては、陵水会事務局までご相談ください。

10. 寄付者への特典

ご寄付いただきました個人様へは100周年記念で編纂しております「陵水100年史」(2024年4月発刊予定)を贈呈させていただく予定です。また、ご寄付の金額によりオリジナルの記念品をご用意しております。ご寄付の際に、振込用紙の通信欄指定箇所の記念品希望欄で可否をチェック、またはクレジットカード決済システムで希望を選択してください。

個人募金ご寄付1万円
(ポストカードセット)



個人募金ご寄付3万円
(スポーツタオル)



個人募金ご寄付5万円
(オリジナルバッグ)



※特典の内容は予告なく変更になる場合がございますのでご了承ください。最新の特典につきましてはホームページをご覧ください。

11. その他

※ご寄付いただきました個人情報などは、個人情報の適切な扱いと保護に配慮し、当募金活動の運営のため関係役員等で共有させていただくことがあります。

※ご意志を確認し、ご芳名を陵水会年報等に掲載させていただきます。

※5万円以上のご寄付を頂いた場合には、陵水会館に銘板を設置させていただく予定です。銘板を辞退される場合は陵水会事務局へその旨ご連絡ください。

※募金の管理運営及び必要な経費(「陵水100年史」発行等を含む)につきましては募金から支出させていただきます。

公益財団法人陵水学術後援会は、1993年12月に設立(2013年4月に公益財団法人に移行)し、国立大学法人滋賀大学経済学部及びデータサイエンス学部を基盤とする学術研究の促進及び教育の振興並びに人材育成の推進に対し、物的及び財的な支援を行い、もって広く学術、教育、文化の発展と充実に寄与することを目的としています。

上記の目的を達成するため、次の事業を行っています。

①学術研究の促進に対する助成、②学術成果の公開に対する助成、③教育の充実に対する助成、④学生の奨学に対する助成、⑤教育研究基盤の整備及び維持に対する助成、⑥その他前条の目的を達成するために必要な事業